

平成 25 年度 (2013)

慶應義塾大学入学試験問題

商 学 部

地 理

- 注 意
1. 受験番号と氏名は、解答用紙 A (マークシート) と解答用紙 B のそれぞれ所定の欄に必ず記入すること。さらに、解答用紙 A (マークシート) の受験番号欄をマークすること。
 2. 解答は、必ず指定された解答用紙の所定の欄に記入ないしマークすること。解答欄外の余白および採点欄には一切記入してはならない。
 3. 解答用紙 A (マークシート) への記入に先立って、用紙上に記載された注意事項を必ず読むこと。
 4. 解答用紙 A (マークシート) の解答欄にマークするときには、すべて HB の黒鉛筆を使用し、また、次の解答例に従うこと。

(解答例) と表示のある問いに対して、3 と解答する場合は、右に示すように解答欄 の ③ にマークすること。

なお、2 桁の数字の場合には、以下のようにマークすること。

例えば、空欄 の解答が 3 6 の場合、解答欄 の ③ にマークし、解答欄 の ⑥ にマークする。

5. 問題用紙は下書きに用いてよろしい。
6. この冊子の総ページ数は 8 ページである。

(12)

0
1
2
3
4
5
6
7
8
9

試験開始の合図とともに全てのページが揃っているか確認してください。ページが抜けていたり重複するページがあったら直ちに監督者に申し出てください。

《指示があるまで開かないこと》

I. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

今日の世界をさまざまな国や地域に分けている境界線は長い歴史の中で定まってきたものである。このことを、南北アメリカ大陸およびカリブ海の島々（以下、「南北アメリカ」と呼ぶ）を例にとって見てみよう。

南北アメリカの諸地域には共通する自然条件や産業がある。例えば、2007年の漁獲量における世界上位9カ国中に、南北アメリカの中から、アメリカ合衆国、(1) (2), (3) (4) が入っている。地下資源を見ると、南アメリカ、北アメリカともに鉄鉱石、石炭、天然ガスを有するほか、南北アメリカを貫く環太平洋造山帯およびその周辺では、特に石油と (5) (6) が豊富である。

一方、言語や宗教の違いに基づいて、アメリカ合衆国以北はアングロアメリカ、メキシコ以南はラテンアメリカと呼ばれるが、実際の状況は、このように明確に二分されるようなものではない。例えば、カナダにはフランス語系住民が多数を占める (7) (8) 州がある。また、ラテンアメリカの、特にカリブ海およびその沿岸部の状況はいっそう複雑である。例えば、オランダ語を公用語とする (9) (10) があり、英語を公用語とする (11) (12), (13) (14) などがある。このような状況は、南北アメリカにおける欧米諸国の領土獲得競争の結果生じたものである。そして現在、(ア) 南北アメリカの国々は、それぞれの地理・歴史・文化的条件に基づいて、さまざまな国際協力機関や地域統合に参加・加盟している。

アングロアメリカとラテンアメリカの境界を見ると、(イ) 独立後、アメリカ合衆国が領土を西へ拡大した際にメキシコから獲得した地域には、メキシコ人が多く残った。その後、メキシコや、現在アメリカ合衆国の自由連合州である (15) (16) などのスペイン語圏のラテンアメリカ諸国から、アメリカ合衆国に多くの移民が渡った。これら移民たちとその子孫は近年アメリカ合衆国においてヒスパニックと呼ばれている。

問1 文中の空欄 (1) (2) ～ (15) (16) にあてはまる最も適当な語句を下の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (1) ～ (16) にそれぞれマークしなさい。

《語群》

- | | | | | | |
|-----------|------------|---------------|-----------|-----------|--------|
| 11 アラスカ | 12 オタワ | 13 カナダ | 14 カーボベルデ | 15 キューバ | 16 銀 |
| 17 グアドループ | 18 ケベック | 19 ジャマイカ | 20 スリナム | 21 赤道ギニア | 22 チタン |
| 23 チリ | 24 銅 | 25 トリニダード＝トバゴ | 26 ハイチ | 27 パナマ | |
| 28 プエルトリコ | 29 ブラジル | 30 ペルー | 31 ホンジュラス | 32 マルティニク | |
| 33 メキシコ | 34 モントリオール | | | | |

問2 下線部（ア）について、以下の表は、南北アメリカの国々が参加・加盟している国際協力機構や地域統合の一部である（2011年10月時点）。

(1) 空欄 (17) ～ (20) にあてはまる最も適当な語句を下の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (17) ～ (20) にそれぞれマークしなさい。

《語群》

- | | | | | |
|---------|--------|---------|--------|-----------|
| 1 ALADI | 2 APEC | 3 CAFTA | 4 CAN | 5 CARICOM |
| 6 FTAA | 7 NATO | 8 OAS | 9 SELA | |

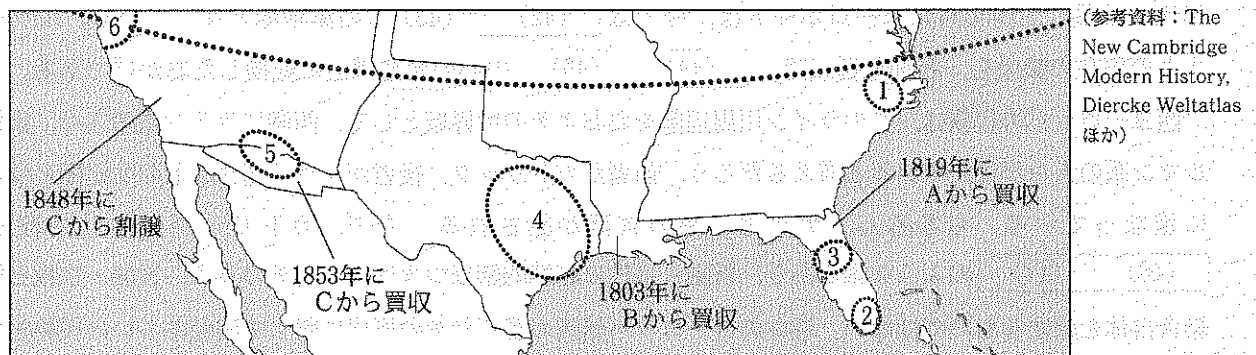
- (2) 空欄 (21) ～ (25) にあてはまる最も適当な語句を下の語群から選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の解答欄 (21) ～ (25) にそれぞれマークしなさい。

《語群》

- 1 アメリカ合衆国 2 エクアドル 3 キューバ 4 ニカラグラ 5 ハイチ
6 パナマ 7 ブラジル 8 ベネズエラ 9 メキシコ

機構などの名称	南北アメリカの参加・加盟国 (準加盟国を除く)	
(17)	(21)	, カナダ
OPEC	(22)	, (23)
(18)	(22)	, コロンビア, ペルー, ボリビア
(19)	(21)	, (24), チリ, カナダ, ペルー
NAFTA	(21)	, (24), カナダ
MERCOSUR	(23)	, (25), ウルグアイ, パラグアイ, アルゼンチン
(20)	(21)	, ホンジュラス, グアテマラ, ニカラグア, コスタリカ, ドミニカ, エルサルバドル

- 問3 下線部 (イ) について、下の地図は、現在サンベルトと呼ばれる地域におけるアメリカ合衆国の領土拡大の過程を示したものである。この地図について、以下の問 (1)～(4) に答えなさい。



- (1) 地図の A～C にあてはまる国名の正しい組み合わせを以下の選択肢から選んで、解答用紙 A (マークシート) の解答欄 (26) にマークしなさい。

- 1 A イギリス B メキシコ C スペイン 2 A スペイン B フランス C メキシコ
3 A フランス B メキシコ C スペイン 4 A スペイン B イギリス C フランス
5 A フランス B イギリス C スペイン 6 A メキシコ B スペイン C フランス

- (2) 地図の 1～6 のうちシリコンプレーンはどれか。正しい数字を解答用紙 A (マークシート) の解答欄 (27) にマークしなさい。

- (3) 以下は、シリコンプレーンにおける産業の変遷を説明した文章である。空欄 (い)～(ほ) にあてはまる最も適当な語句を、解答用紙 B の所定の解答欄にそれぞれ 5 字以内で答えなさい。

もともとは (い) 栽培と結びついた (ろ) 工業が主体だった。その後、(は) 工業や (に) 産業などが発達し、1970年代からは (ほ) などの工場が多く建設された。

- (4) サンベルトは、安価な労働力と工業用地の確保が容易であることを背景に発展した。これ以外のサンベルト発展の要因を 2 つあげなさい。解答は、解答用紙 B の所定の解答欄にそれぞれ 8 字以内で説明しなさい。

II. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

ヨーロッパ大陸の中部は、比較的高緯度に位置するにもかかわらず、暖流と偏西風の影響で(28) (29) と呼ばれる温暖な気候を享受している。また、この地域には(ア) 古期造山帯に属する構造平野が広がり、険しい地形的障壁がないために、さまざまな民族が流入してきた。11世紀以降、この広い平野部を覆っていた森が開墾され、(30) (31) をはじめとする農業技術も発展したことで、人口が急速に増加する。この人口増が十字軍や大航海時代といった、ヨーロッパの外部拡張の要因の一つとなった。現在でも、ドーヴァー海峡対岸のロンドン近郊から北イタリアを経て地中海沿岸へ至る「ヨーロッパの(32) (33)」と呼ばれるゾーンが、この地域を南北に貫いて活発な経済圏を形成している。その物流の基幹として機能したのが、平原部をゆるやかに流れる(イ) ライン川である。内陸国スイスにとって河川港(34) (35) は海への玄関であったし、現在、欧州議会の本会議場が置かれている(36) (37) も、水路と陸路の交差点に発達した都市である。ただし、第二次大戦後になると内陸部の産業は大きな転換を迫られた。フランスにおいて、かつてアルザス・ロレーヌ地方で栄えた鉄鉱業は臨海部に移動してゆき、現在では(38) (39) に大規模な製鉄所の集積がみられる。また、(40) (41) は(ウ) ライン川流域の鉄鉱石の需要によって19世紀に発展を遂げた港だが、これを1950年代に拡張して作られたユーロポートは、今では(42) (43) の集積地となっている。ルクセンブルクの現在の繁栄も、石油危機以降、(44) (45) 中心の産業構造に転換したおかげである。

西ヨーロッパの民族は、このライン川周辺部をおおよそその境界域として、西側にラテン系の人々、東側にゲルマン系の人々が住んでいると言えるだろう。前者がカトリック、後者がプロテスタントの文化圏とゆるやかに重なっている。もちろん、ゲルマン系の言葉が話される一方で、カトリックが主な宗教である(46) (47) のような国もあり、言語と宗教に必然的結びつきはない。そのうえ、言語・宗教と国家の結合自体も厳密なものではない。現在のヨーロッパ諸国の多くがその形成に際して国民あるいは民族という概念を拠り所にしたことは確かである。しかし、国民ないし民族の一体性を保証する重要な要素とされる言語に関してさえ、その分布は国家の地理的境界とほとんど一致しない。その代表的な例はスイスであり、話者の多い順に(48) (49) 語・(50) (51) 語・(52) (53) 語・(54) (55) 語の四つの国語を定めている。河川や山脈は軍事的境界となりやすく、それに従って政治的境界を設けること自体には長い歴史があるものの、その内部に均一な国民ないし民族が形作られる、というようなA説は近代になって成立したものでしかない。そして、18世紀末にフランスがA説を推進したのは、ドイツ語系の言葉が話されていたライン川左岸のアルザスを領土としておきたかったという事情もある。かつて植民地だった地域などでは、民族の分布と無関係で恣意的なBが紛争の火種として指摘されることが多いが、それに劣らずAも恣意的な境界である。フランスが自明のものとした境界をドイツは認めず、アルザスは二度の大戦の主要な争点となる。

第二次大戦後のヨーロッパでは、独仏の伝統的な対立を解消するため、戦争の原因と考えられた石炭・鉄鋼の管理を共同機関にゆだねる(56) (57) が1952年に発足した。これが現在のヨーロッパ連合への礎石となる。現在、ライン川流域はヨーロッパの政治的な中心として機能しており、(58) (59) には欧州委員会が、(60) (61) には欧州連合裁判所が置かれている。大小の国々の国境が錯綜するこの地域は、統合ヨーロッパを象徴するのにふさわしい条件を備えていると言えるだろう。しかし、

国境の役割を弱めることで国際紛争を回避したヨーロッパも、民族や宗教に起因する緊張を解消するには至らず、新たな問題も生じてきている。たとえば、第二次大戦後の経済復興において、フランスは (62) (63) や (64) (65) から、ドイツは (66) (67) から大量の移民を労働力として導入したが、ヨーロッパ外から来た彼らの子孫の社会的統合や経済的困窮は深刻な問題となっている。

問1 文中の空欄 (28) (29) ～ (66) (67) にあてはまる最も適当な語句を下の語群から選び、解答用紙 A (マークシート) の解答欄 (28) ～ (67) にそれぞれマークしなさい。

《語群》

11 EC	12 ECSC	13 EEC	14 EFTA
15 アイルランド	16 アフガニスタン	17 アムステルダム	18 アルジェリア
19 イタリア	20 イラン	21 ウィーン	22 英
23 エジプト	24 園芸農業	25 オーストリア	26 温帯夏雨気候
27 温暖湿潤気候	28 企業的放牧業	29 金融業	30 ケルン
31 コナーベーション	32 混合農業	33 ザルツブルク	34 サンベルト
35 三圃式農業	36 ジュネーヴ	37 スイス	38 ストラスブール
39 西岸海洋性気候	40 製紙業	41 精密機械工業	42 石油化学工業
43 タラント	44 ダンケルク	45 チューリヒ	46 ドイツ
47 トルコ	48 ナイジェリア	49 ナンシー	50 バーゼル
51 ハンガリー	52 フォス	53 ブザンソン	54 フラマン
55 フランス	56 ブリュッセル	57 ベトナム	58 ベルン
59 ポーランド	60 ミュンヘン	61 メガロポリス	62 メサビ
63 メトロポリス	64 モロッコ	65 リール	66 リビア
67 旅行業	68 ルアーブル	69 ルーアン	70 ルーマニア
71 ルクセンブルク	72 ローザンヌ	73 ロッテルダム	74 ロマンシュ

問2 下線部 (ア) 古期造山帯について、このような地形にはルール炭田のような石炭産地がみられる。その地質学的な理由を、解答用紙 B の所定の解答欄に30字以内で述べなさい。

問3 下線部 (イ) ライン川について、ボーデン湖より下流の流路を解答用紙 B の所定の白地図上に記入しなさい。その際、ボーデン湖の位置を×印で示し、流路を実線で記入すること。白地図上で点線は国境を表している。

問4 下線部 (ウ) ライン川流域の鉄鉱石の需要に関連して、かつて世界的に鉄鋼業が石炭の産出地で発展した理由を解答用紙 B の所定の解答欄に25字以内で述べなさい。

問5 文中 A ・ B に入る用語を、それぞれ解答用紙 B の所定の解答欄に5文字以内で書きなさい。

Ⅲ. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

なぜ、産業の立地場所は産業によって異なるのだろうか。また、なぜ、地域によって、多種多様な産業が集積する地域と、限られた種類の産業のみが集積する地域があるのだろうか。このような疑問について考えることは、その背景となる企業活動や企業ネットワーク、また労働市場など、様々な経済活動を把握するのに重要である。

ここでは、日本を例にとって、産業の立地状況をみてみよう。そのために、まず産業活動全体の集積と相關する人口の集中をみてみよう。2005年の資料によれば、東京都は、面積において日本全土の0.58%だが、人口は(68) (69) %を占める。次に、産業の構造を地域ごとにみると、地域によって偏りがあることがわかる。東京都の就業人口に占める第2次産業従業者の割合は(70) (71) %で、全国その(72) (73) 倍なのに対し、第3次産業従業者の割合は(74) (75) %で、全国その(76) (77) 倍である。さらに産業を細分化して、その地理的分布をみると様々な集積地があることがわかる。例えば、ステンレスカトラリーの生産が集中する燕市やメガネフレームの生産が集中する(78) (79) 市など、世界的にも有名な集積地もある。

各産業の立地条件は様々だが、燃料が立地の主条件である産業の例として、アルミ精錬業がある。アルミは、オーストラリア、中国、ブラジル、インド、(80) (81) , (82) (83) で主に産出される(84) (85) を原料に、中間製品の(86) (87) を電気分解して製造される。この(86) (87) を用いたアルミ精錬は、電力の安価な場所に立地する傾向があり、主な立地場所の一例として、ロシアの(88) (89) 周辺がある。また、ガーナでは、(90) (91) 川総合開発計画により完成した(92) (93) ダムの水力発電が利用されている。一方、情報が立地の主条件である産業の例として、アメリカのシリコンバレーがあり、そこには(94) (95) 大学などの研究機関との提携や情報交換を目的とした多くの起業家や中小企業が集まっている。高度情報都市の形成のため、マレーシアの(96) (97) など、先端企業や大学の研究開発拠点を誘致する地区もある。

上述のような(ア) 同業種集積は様々な集積の利益を生み、さらなる集積や、他産業の立地を促すことがある。こうして都市は拡大するが、都市規模は(イ) 集積拡大に伴う不利益により制限される。集積の不利益を避けるため、企業内分業をし、集積の利益を受けやすい機能を都市に残して、他の機能を移転させる企業もある。さらに、本社やR&D部門などを先進国の大都市圏や先端的工業地域に立地させ、工場を労賃の安い国に立地させる企業もあり、これが(ウ) 国際分業体制の形成の一因ともなっている。工場誘致を目指して、(エ) 輸出加工区、自由貿易地区、または保税區と呼ばれる地区を設置する国もあり、現在又は過去において、これらに指定された地区・地域の例として、(98) (99) や(100) (101) がある。もちろん、国際分業の形態は様々だが、一般に、国際分業は、貿易障壁の撤廃により促進されると考えられ、経済統合された地域では、域内分業がとくに進んでいる。

問1 文中の空欄 (68) (69) ～ (100) (101) にあてはまる最も適当な語句を下の語群から選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) 解答欄の (68) ～ (101) にそれぞれマークしなさい。

《語群》

11 0.3	12 0.7	13 1.2	14 9.8
15 18.7	16 30.2	17 45.4	18 60.8
19 80.9	20 99.7	21 アクリル	22 アコソンボ
23 アシエンダ	24 アスワンハイ	25 アビジャン	26 アルゼンチン
27 アルミナ	28 イポー	29 イルクーツク	30 ヴォルタ
31 カラガンダ	32 カリフォルニア	33 ギニア	34 ケソンシティ
35 原油	36 ゴア	37 コークス	38 神戸
39 サイバージャヤ	40 堺	41 鯖江	42 座間
43 ザンベジ	44 ジャマイカ	45 シロンスク	46 スタンフォード
47 石炭	48 タンザニア	49 鉄鉱石	50 ドネツ
51 ナイル	52 ナフサ	53 ハーバード	54 ハイナン
55 ファベラ	56 プリンストン	57 ブルネイ＝ダルサラーム国	
58 ボーキサイト	59 マキラドーラ	60 南アフリカ共和国	

問2 下線部 (ア) の例として、同業種産業が集積したことにより、その産業が必要とするサービスの需要が増加した結果、そのサービスを供給する産業が発展することがある。この具体例を、シリコンバレーに関して、35字以内で述べなさい。なお、解答には「資金」という語句を必ず用いること。

問3 下線部 (イ) 集積拡大に伴う不利益の主なものを三つ、それぞれ10字以内で述べなさい。

問4 下線部 (ウ) 国際分業に関して、繊維工業の三つの部門、紡績、織物、縫製 (アパレル) の内、縫製 (アパレル) の過程での国際分業を40字以内で説明しなさい。なお、解答には「発展途上国」と「先進国」という語句を両方、必ず用いること。

問5 下線部 (エ) 輸出加工区、自由貿易地区、または保税区と呼ばれる地区を設置する発展途上国や新興国に特有の目的のうち、一つを5字以内で述べなさい。

